

東京急行電鉄 デハ5000形 形式図

1954年以来東急車輛で続々と製造されて、東横線の主力となった車輛
下端に大きな丸みをつけた軽量車体やTS301台車など、当時としては
非常に大胆かつ進歩的な設計で、またライトグリーンの明るい塗装が採用された
デハ5000形は55輛を数えるに至ったが、同系車に中間電動車デハ5100やクハ5150、
サハ5050があり、合計100輛を超えている

